# 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2 事業実績

2. 争某美領	w	
利用実績	①年間延べ利用者数 29,386人 (平成25年度:27,741人)	②年間延べ利用団体数 849団体 (平成25年度:789団体)
収支実績	1 収入 指定管理料 その他収入 合 計 2 支出 人件費・賃金 光熱託費 資籍品費 修繕の他計 合 計 3 差引	単位:円 26086,679 6,355,522 32,442,201 19,665,980 1,684,517 2,324,030 4,583,636 355,997 2,782,421 31,396,581 1,045,620
サービス向上の取組	利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを提 する技術や情報が集約されるセンターとして機能の充	供するなど、専門性が十分に発揮され、野外活動に関 実が図られていた。

# 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点		
利用	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4		
		計画どおり事業が実施されているか	J				
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3		
者満足度	供を行った。 当初の事業計画 利用者数は昨年	に沿って、ボランティアを育成しながら間伐などの森林整備を行い、野外活動に関する専門性を活かした各種プログラムの提 計画書の提案にはなかったロケットストーブの作成を行うなど、専門性を活かし創意工夫を凝らして事業を推進した。 昨年度より5.9%増加し、第2期指定管理時と比較して8.4%の増となった。 指定管理時(平成21年度~平成25年度)年度平均利用者数:27,106人					
	適切な金銭管 理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3		
	効率的・効果的 な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか		3	6		
収支計画・実績		計画に基づく適切な支出がなされているか	10				
		支出に見合う効果が得られているか	10				
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか					
績	(評価の理由) 仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。 自主事業への参加者が増加し消耗品費及び報償費の支出が大幅に増えたが、全体では黒字を計上した。						

			ī			
サー	施設・事業の広 報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4	
		広報の方法に工夫が見られるか				
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6	
ビフ	学校及び行政機 関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8	
ス向上及び	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8	
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか	10			
業務改善	(評価の理由) ホームページの更新を頻繁に行い、プログでは写真を多く掲載することで日々の活動の様子を伝えるよう努めており、市政だよりへのエントリーも積極的に行い、ラジオ広報番組による情報の発信も行っていて、各イベントの周知が図れ、抽選が必要になるなど申込者多数の事業も多くなっている。 利用者に対する接遇について、適切に対応をしていた。 事業実施に当たり近隣の小中学校や地域住民との連携を図って、黒川の里山保全活動を行っている。また、麻生区こども関連ネットワーク会議に年2回委員として出席した。 利用者アンケートなどの意見を事業に速やかに反映しており、近隣の中学生による音楽会の実施や、PTAからの講演依頼等にも積極的に応じている。また、気軽に利用者が意見を寄せられるよう、ホームページのトップページにメールアドレスを問い合わせ先として掲載している。					
	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8	
組織		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか	10			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3	
管理体	個人情報等の取 扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
体制	(評価の理由) 所長を始め十分な経験と専門知識のある人材を活用し、計画どおり適正な人員配置を行った。 資格取得講習会には職員も受講させ専門的な技術とスキルを身につけるなど、予定どおりの研修が実施された。 また、個人情報の取扱いについて、適切な運用を行った。					
	施設・設備の保 守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4	
適正な業務実施	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	-	3	3	
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか	5			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	-	3	3	
		緊急時のマニュアル等が整備されているか	5			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	F	4	4	
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5			
	(評価の理由) 施設点検シートを作成し、修繕の必要な箇所を把握し、排水溝などの大掛かりになる清掃作業は月1回作業日を定めて行い、適正な修繕に努めた。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がなされていた。 防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。 災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練のみならず、町内会と連携した訓練も実施されていた。また、ペール缶を利用してロ					

災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練のみならず、町内会と連携した訓練も実施されていた。また、ペール缶を利用してロ ケットストーブを3台作成するなど、災害時に備えた。

注)配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計 70 評価ランク	В
----------------	---

注)評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価 A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、

E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページやラジオ等の媒体の活用など広報の充実に努め、乳幼児親子向け事業を始めとする既存の事業に工夫を加え、より利 用者ニーズに対応した企画・事業推進を図っている。また、学校や行政、町内会や大学、近隣企業との連携を行い、地域により一層溶 け込んで事業を展開した。

### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、多くの市民に黒川の自然の中での野外活動等を体験してもらえる環境を維持するとともに、専門性に富んだ職員研修の成 果を事業運営に反映すること。